
仁良・神生地域まちづくり計画

「全員参加のふるさとづくり」



（概要版）

平成 28 年 4 月

仁良・神生住民自治協議会

■仁良・神生地域まちづくり計画の役割

仁良・神生住民自治協議会では、地域の皆さんで、少子高齢化などがもたらす地域課題を見据え、子どもから高齢者までの全ての方が、将来に向けて安心に暮らせることができ、また、「この地域に住んで良かった」と思えるような誰もが誇れるまちづくりを進めるため、「全員参加のふるさとづくり」を基本理念に掲げ、分野別に目標を共有し、その目標に向かって実践していくための羅針盤として「仁良・神生地域まちづくり計画」を策定しました。

1 策定の経過

平成 23 年

1 2月1 4日 仁良・神生住民自治協議会設立
住民・団体アンケート調査実施

平成 24 年

1 月1 1日 役員会 地域まちづくり計画策定委員会設置

1 月1 9日 地区担当職員連絡会議

2 月 2日 第 1 回地域まちづくり計画策定委員会
アンケート集計結果・地域の現状の報告
課題の洗い出し 意見交換

2 月2 3日 第 2 回地域まちづくり計画策定委員会
事業のアイデア出し等、グループ討議

3 月 8日 第 3 回地域まちづくり計画策定委員会
事業の掘り下げ、グループ討議

4 月1 0日 第 4 回地域まちづくり計画策定委員会
地域まちづくり計画素案の作成

5 月1 0日 役員会 地域まちづくり計画案の決定

6 月 6日 仁良・神生住民自治協議会 総会 計画の決定

平成 27 年

1 1月9日 地域まちづくり計画の見直しに係る検証・アンケートを実施

平成 28 年

4 月2 1日 仁良・神生住民自治協議会総会 計画の見直し

2 役割

仁良・神生地域まちづくり計画は、仁良・神生住民自治協議会が一丸となって取り組む目標や活動などを定めたものであります。今後は、地域状況の変化に適切に対応するため、**必要に応じ**見直しの検討を行います。また、年度ごとに事業計画書を作成し事業を実施します。

3 計画の推進体制

仁良・神生地域まちづくり計画を推進するにあたり、その実効性を高めるという観点から、区をはじめ各種活動団体、仁良・神生住民自治協議会委員及び地域住民が役割分担により、地域社会に求められている活動に自主的にチャレンジする実行委員会等の設置や分野別に活動に取り組む体制を整えるほか、活動組織間の事業調整を行う会議の開催、アドバイザー派遣などを行い持続的に事業展開ができるようにします。また、事業については、評価・検証を行い、次へつなげるステップとするとともに、**事業推進マニュアルにより円滑に進めていきます。**

■ まちづくりについての住民の声(アンケート結果から)

1 世帯アンケート

世帯アンケートは413件の回答をいただきました。仁良・神生では、地域への愛着を感じている方は、88%に達しており、多くの方が地元への愛着を持っております。このことは、まちづくりを進めていくうえで、潜在的なパワーがあることが伝わり、力強い結果となっています。

地域の魅力としては、「自然が豊か」70%、「犯罪が少ない」38%、「人情がある」31%が上位であります。これは、この地域では豊かな自然環境の中で、地域の深いつながりと安心した暮らしぶりがあることがうかがわれます。一方、地域の住みづらい点としては、「交通の便がよくない」54%、「買い物に不便である」44%、「老後の生活が不安である」33%、「魅力ある働く場が少ない」31%が高い数値となっております。

地域活動の関心については、「非常に関心がある」3%、「ある程度関心がある」58%で、両方あわせると61%になり高い数値を示してします。地域活動への参加の状況は、「年に1~2日」33%、「半年に1~2日」20%が上位で、参加する場合の活動主体は、「自治会」36%、「農業関係」22%が上位を占めております。このことから、皆さん地域活動に対しての重要性の認識はあるものの、実際は、忙しさ、余裕のなさなどから活発な活動にまでには至っていないと思われます。

次に、今後地域の活動に参加する場合の考え方としては、「友人や地域の人達、身近な人と一緒に参加できる」56%、「自分の都合にあわせて、わずかな時間で参加できる」48%、「簡単に参加できる」37%、「趣味や特技を生かせる」23%、「個人で参加できる」19%が上位を占めており、空いた時間に気軽に参加できる活動であれば、大勢の参加が見込まれるという結果となっております。

また、活動の内容については、「道路や公園などの地域の清掃活動」23%、「地域の伝統行事、祭りや盆踊りなどの地域ふれあい行事」22%「まちに緑や花を増やす美化活動」21%、「交通安全や見回りなどの防犯活動」18%、「お年寄りのお世話や生きがい対策などの地域の福祉活動」17%「防災訓練などの防災対策」16%、などが上位を占めております。このことから、地域の環境や伝統行事に関心が高いことがうかがえます。

このような結果から、例えば個人で育てたプランターをシンボルロードにまとめて設置するなど、個人で気軽にできる環境活動などは、参加する方が多くなる傾向にあると思われます。また、特に若い世代は忙しいと言われており、地域活動の担い手として、なかなか力が発揮できない状況にあります。そのため、例えば子育て世代では、PTAの活動を地域活動に取り込むなど、日常の中から地域との接点を見出す工夫が必要であると考えられます。

2 団体アンケート

団体アンケートは、20 団体から回答をいただきました。地域では区の活動が主となり、実行組合、高齢者クラブ、子ども会、消防団、食生活改善グループなどの縦型（地域型）の活動があります。近年、農村環境の保全向上対策に対する取り組みとして、保全会の活動が新たに加わってきました。この活動は、区の中で各種団体を繋ぐ横断的な役割を担っており、平成 23 年度に制度の改正がありましたが、地域に溶け込んだ活動となり引き続き取り組みを行う団体もでてきています。一方、地域の横断的な組織としては、地区社協、小学校、青少年相談員などの活動がありますが、NPO 法人ややまだ福祉文庫自然など福祉関係団体も組織されています。

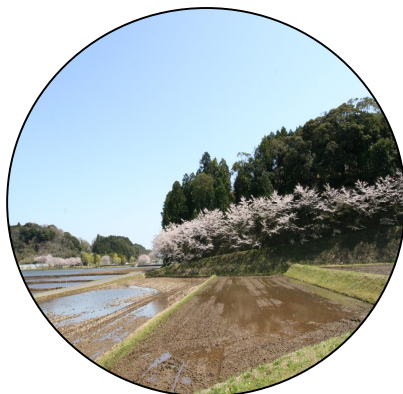
これらの団体が活動する中では、全体的に人口減少と少子高齢化の影響を受けております。特に課題として、会員や実際の活動者の減少などがあります。

また、団体が今後、取り組んでみたい活動として、防災防犯、地域茶屋、広場の整備などの意見があります。

協議会は、活動団体や地域住民の連携・協力を図るため、地域の総合的横断組織として、地域を繋ぐマネジメント機能も望まれます。したがって、これまでの活動団体や地域住民の皆さんの知恵を生かし、活動の意味づけやストーリー性を考え、整理することで地域との接点が深まり、地域に馴染んだ協議会活動が展開されることが期待されます。

※地区の主な活動団体及び分野の例（アンケート等から）

環境	生活・産業	防災・防犯	健康・福祉	教育・文化	地域 コミュニティ
仁良区・神生区					
環境保全会（仁良・神生）	実行組合（仁良・神生） 土地改良区 アグリライフやまだ神生	消防団（第 4 部） 消防団（第 5 部） 神生防犯パトロール	地区社協 仁良高齢者クラブ 神生寿昌会 コスモスの花 やまだ福祉文庫	八都第二小学校 小学校・PTA、 青少年相談員 仁良子ども会 神生子ども会 地区社協	



■ 地域の課題等

アンケート調査や策定委員会などでは、地域の課題や事業提案として様々な意見がでました。そのなかで主なものを分野別に整理すると次のようになります。これからのまちづくりにおいては、これらの課題の解決に向けた事業や提案等を生かし、まずは地域でできることを協議会の事業として、展開していく必要があります。

地域の課題や対策等	
1 環境	
●ゴミのポイ捨て、不法投棄	道路脇のゴミ、市道（戸崎線） ペットボトルや缶など、捨てる人が多い。 野菜のゴミ対策 休耕田や山にゴミが目立つ。
対策	ゴミ箱の設置 地域内道路の草刈り。 ゴミ拾いボランティアグループを組織し月 1 度の活動 ゴミが捨てられている場所の調査とゴミゼロ運動などにあわせて集中的な ゴミ処理 独自にゴミ不法投棄に対する罰金
●ゴミ分別対策	ゴミ収集所の違法ゴミ リサイクル品ステーションの設置（曜日に関係なく持ち込み可能） ごみの分別の仕方の周知が必要（燃えないゴミ、ペットボトルなど）
対策	わかりやすい分別用 PR 看板の設置
要望	ゴミ収集車の範囲拡大
●ゴミ野焼き対策	昼でも平気でゴミを燃している。
●異臭対策	家畜（養豚）の糞尿が臭い 肥やしの撒きっ放しによる異臭対策
●地域の環境保全	川の水質悪化 農地、林道、林、竹林などの環境保全
対策	資源の有効利用のため、木炭や竹炭をつくる施設の設置 合併浄化槽の設置
2 生活産業	
●農業	荒地の増加 後継者不足 狩猟時の安全対策
対策	荒れ地を企業に貸し出し、働く場所を増やす。

●就労対策	
	大学を卒業しても地元での就労の場がない。 企業誘致
●少子化高齢化	
	結婚しない人がいる。
●買物	
	子供がいないので、将来のことを考えると不安である。 車がないと買い物にいけない。 スーパーマーケットが遠い。
●道路整備	
	道路のひび割れ対策 車がすれ違いができない
3 防災・防犯	
●安全対策	
	通学路の安全対策 歩道のない県道が危険 街灯が少なく、夜間の防犯が不安 神生青年館前事故が多い
対策	街灯の球キレ素早く対応 通学道路を横断するための対策（信号、旗振り） 地区で道路に伸びた木の処分対策ができるようにする。 官・民の話し合える場の機会の設置 救命救急士を増やす
● 防災対策	
	震災の際、避難所がわからなかった。
対策	断水時の対応として、共同井戸が地区に一つは必要
4 健康・福祉	
●高齢者支援	
	独り暮らしや体の不自由な方への生活支援が必要
対策	隣近所で気配りや見守りができる体制づくりの構築
● 健康	
	大きな病院で診療を受けたくても紹介状がなければ、診てもらえない。
5 教育・文化	
●小学校統合	
対策	P T Aを始め、地域の様々な方からの意見聴取と教育の将来ビジョンの説明
●学校以外の活動	
	放課後児童クラブの入所要件の緩和 活動に親の送迎が必要

6 地域コミュニティ

●区活動等

	地区民の横のつながり希薄化 区の運営の見直しが必要 町民体育大会のような一致団結する姿がない ボランティア活動をする余裕がない
対策	区民センターの有効利用 行政の業務の充実（市が多くの業務を担う） 地域活動や役員などの幅広く人材を登用 転作山及び周辺広場を地域のシンボリックなものとして位置づけ、恒久的な 管理体制、広く利用できる体制を作りが必要 まちづくりの成功事例の学習とPR 無駄を省いた行政改革の推進



■ 分野別の事業推進

課題解決のため、地域でできることを考え、分野別に目標や現状、展開する活動などを示したものです。

1 環境

仁良川をはさむふれあいで 守り残そう 郷土の自然

【現状・目標】

日常生活に関連した、ごみ問題や、不法投棄、野焼き、異臭対策などに関する課題が寄せられています。一方で、地域の自然の豊かさや住みやすい環境が残されていて、大切にしたいという思いが強くなります。

今後、地域では、自分たちの生まれ育った環境を大事にして、ずっと住み続けたいと思えるような美しいまちを目指し、身近な環境を見直し、地域の繋がりを生かした環境活動に取り組むことが求められています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
環境美化保全活動	環境保全会、子ども会など地域の活動団体が協力し、清掃活動や草刈り等の環境美化活動を行う。 ・通学路の美化、仁良川の清掃、枝落とし、プランターの設置、転位山の整備 竹炭作り 等 【区、保全会、土地改良、市民活動団体、地域住民 等】	短期 継続
地域ふれあい美化活動	イベント型の地域の美化活動を一斉に行い、作業を通して、仲間意識を強化し、郷土愛を育む。また、ふれあい祭りなどの行事に関連させた環境美化と廃品回収を行い、おもてなしの心から不法投棄の防止に繋げたり、PTAの廃品回収を地域として協力する。 【区、地域住民 等】	短期 継続
通学路クリーン活動	地域住民が日常的に使用している通学路（道路）を、世代を超えた地域の大勢が参加し、清掃を行う。 【区、小学校・PTA、市民活動団体、地域住民 等】	短期 継続
地域の住よい環境づくり活動	花植えや環境イベント、地区シンボル公園整備などを行い、地域の自然環境を見直し、ふるさとの自然に誇りを持つ活動を行う。また、地域での話し合いを中心に情報提供や啓発活動、案内板設置、パトロール等を行い、ごみの分別、不法投棄防止、野焼き防止、異臭対策などを進める。 【区、市民活動団体、地域住民 等】	短期 継続

2 生活・産業

明るく元気に暮らせる ふるさとづくり

【現状・目標】

農産物の価格問題や後継者不足などにより地域の主産業である農業の衰退に加え、就労の場が少なく、若者が地元に残らないことや結婚問題などの課題があります。また、高齢者の買物等の不安が寄せられています。

将来にわたって、安心して快適に暮らせるよう、地域農業の活性化や生活基盤の検討、後継者の確保など生活環境の充実が求められています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
遊休農地等の有効活用	地域の農業者等が主になり、休耕している田畑を活用する。 ・学校などや地域への供給 等 【実行組合、市民活動団体、地域住民 等】	短期 継続
地域交通の検討	高齢化を迎え、身近な地域の交通について、検討する。 【高齢者クラブ、地域住民 等】	短期 継続
地域産業等の振興	地域内の交流が図れるコミュニティビジネスや、地域の後継者の生活に繋がるような基盤を検討する。 【実行組合、市民活動団体、地域住民 等】	短期 継続

3 防災・防犯

力を合わせ 安心・安全に暮らせる 仁良・神生

【現状・目標】

3.11 の東日本大震災の経験から防災に関する意識が強くなっております。また、地域の繋がりが強く治安が良いとの意見も多く寄せられています。

今後、いつ起きるか予測のつかない大災害に対して、地域自らが迅速かつ安全に避難・行動できる体制づくりに取り組むことや通学の安全確保や防犯などに取り組むことが求められています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
地域防災活動	防災器具等の整備や避難訓練、啓発活動、マップづくりなど地域防災を充実させる活動を行う。 【区、消防団、市民活動団体、地域住民 等】	短期 継続
地域見守り活動	日頃から地域の繋がりを生かした声掛けや見守り活動を行い、マニュアル化、連絡カードの作成など災害時に対する備えを行う。	短期 継続

	【区、小学校、PTA、消防団、地域住民 等】	
安全パトロール活動	登下校などに見守り活動を行う。 【区、小学校、PTA、消防団、市民活動団体、地域住民 等】	短期 継続

4 健康・福祉

健康体力 仲間の輪 お互いに支え合う 住み良いまちづくり

【現状・目標】

近年、健康に対する関心は高まっています。とりわけ本地域に住む方の **3.05** 人に 1 人の割合で 65 歳以上となり、高齢化社会に伴い様々な不安があります。

今後も高齢化は進むことから高齢者を中心とした健康づくりや生きがい対策が求められています。また、地域コミュニティを生かした健康活動なども必要とされています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
健康づくり活動	健康教室、出前講座、各種講習会や軽スポーツ教室の開催等により健康増進の機会や相互のコミュニケーションの場をつくる。 【高齢者クラブ、地区社協、市民活動団体、地域住民 等】	短期 継続
生きがい活動	高齢化が進展する中で、地域で生活支援や生きがい対策に繋がる活動を行う。 ・地域敬老会の開催 ・地域公共交通などによる外出支援 ・パトロールや清掃活動などの社会奉仕活動 等 【高齢者クラブ、地区社協、市民活動団体、地域住民 等】	短期 継続
地域健康交流活動	仁良・神生区の運動会、高齢者と子ども会によるグランドゴルフ大会の開催、各種スポーツ大会・教室、ウォーキング大会、講演会などにより、親しく和気あいあいとして集う、健康で明るく活力のある地域づくりに繋がる活動を行う。また、気軽に集まれる場の設置をする。 【区、高齢者クラブ、市民活動団体、子ども会、地区社協、地域住民 等】	短期 継続

5 教育・文化

語り伝え 守り育てよう 郷土の歴史・文化

【現状・目標】

この地域では、祭礼やおびしゃなどの地域伝統行事が古くから盛んであります。これらの伝統は地域の方々により守られ、今日まで継承されてきました。

この大切な歴史・文化を、継承に伴う負担感の軽減を図りながら、後世に引継ぐ工夫が求められています。

また、小学校統合問題に関心が高く、地域での丁寧な話し合いが必要であります。今後も地域の子どもの数は減少しますが、子どもは地域の宝という認識に立ち、地域全体で人材や資源を活用しながら教育や文化を振興することが期待されています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
地域文化の継承	祭りやおびしゃなどの伝統行事の継承と後継者の育成をするため、後継者の交流会、下座体験教室、祭りや行事の振興を図る。また、地域の歴史・資源を生かした新たな文化活動への展開を図る。 【区、小学校、保育園、市民活動団体、地域住民 等】	短期 継続
地域の歴史学習及び保護活動	地域の歴史を知るため、学習機会の充実、資料集の発行や環境整備、保護活動を行う。 【区、市民活動団体、地域住民 等】	短期 継続
ふるさと地域活動等の充実	個人では、あいさつ運動などの展開によりふるさとを思う気持ちを育む、団体では地域活動団体の課題の洗い出しをしながら、育成・連携・協力、発展の場づくりを進める。 【市民活動団体、地域住民 等】	短期 継続
小学校・団体等連携事業	小学校や各種団体の連携・協力事業を進める。 【区、小学校、市民活動団体、地域住民 等】	短期 継続

6 地域コミュニティ

春夏秋冬 自然を生かした 地域の結び合い

【現状・目標】

少子高齢化等の影響により、自治会や各種団体の役員等の選任や年代の差、男女の別により活動などへの負担感や不満がある一方で、隣近所をはじめ地域コミュニティの充実を望む声が多く寄せられています。

したがって区を中心とした活動は、これからも重要性が高まるものと思われますが、今後は、無理のない範囲で一人ひとりが1つの地域貢献という発想に立ち、これまでの活動や住民自治協議会により各種団体等が連携を深めながら活動することで、まちづくりが充実していくものと期待されます。

項目名	事業・内容・主体等	時期
地域資源を生かした交流イベント	地域資源を活用しながら、仁良・神生の方が交流を深めるイベント等を開催する。 ・夏祭り、七夕 等 【区、市民活動団体、地域住民 等】	短期 継続
情報発信収集活動	活動の周知PRや身近な情報を伝えるため、広報紙やホームページ、ブログ、ツイッター、案内板、啓発物資等により広報を行う。また、地域住民の意見、アイディア等の集約活動を行う。 【区、市民活動団体、地域住民 等】	短期 継続
地区集会施設の活用	地区の集会施設を有効活用する。 ・出前講座、学習活動 等 【区、市民活動団体、地域住民 等】	短期 継続
地域まちづくり計画推進調整	持続的な事業展開をするため、公益性に加えて楽しい活動となるよう、住民自治協議会の事業調整や研修会、アドバイザー派遣事業などを行う。 また、各事業に外部からの応援団が加わり、力や知恵を取り込めるような発想や取組みを行う。 【協議会、地域住民 等】	短期 継続

※ 短期とは、概ね3～5年を目安に取り組むもの

7 事業の例

策定委員会では、事業を推進するため、グループ別に協議して、分野別に項目等の具体的な事業について、次のとおり提案を行いました。

※ 個別提案は、資料編に掲載

グループ名	事業名	目 的	具体的な実施方法	楽しさ、参加の魅力
環境	地域ふれあい環境美化活動	「集いの場づくり」、 「美化意識の向上」、 ・地域全体のゴミ拾い ・仁良川の環境整備 ・農道の整備・草刈 ・菜の花などの植栽 ＊地域みんなで参加する事により地域を汚さない意識を高める。	・5月の最終土日に行う ・ハニ小のグラウンドに集合 ・仁良神生環境保全会 ・小中学校の地区担当教員 ・消防、高齢者クラブ	子供達に活動ポスターを作ってもらい看板などにして掲示
防犯防災	小学生安全パトロール隊	小学生の防犯防災	・登校時にPTA、生徒の父母等 下校時に団体希望者、高齢者クラブ等 班編成を行い、見守り活動を実施する。 【実施にあたっての諸課題】 開校日に合わせて毎日行うことは人員が不足 登校時の見守りのPTAの参加は可能か。広い地域内での同行は可能か。下校時間にばらつきがある。 【原状】 高齢者クラブを中心に見守り隊が組織され、可能な限り下校時間に合わせ散歩等を兼ねて行っている。（腕章・帽子を着用）	
健康福祉	仁良・神生大運動会	両区の団結力と親睦、健康管理	事前準備、当日運営 ・豪華賞品 ・保険加入 ・参加しやすい種目	・参加しやすい種目で参加者を多く ・対抗戦も設定して競技を盛りあげる ・観戦している人との一体感 ・豪華賞品
教育文化	地域の伝統文化の継承	伝統行事の継続	・下座の体験教室 ・踊りの練習（ハッピーを揃える）	男女、年代を問わず交流参加
地域コミュニティー	にらかんわいわい広場（情報誌発行）	情報の共有化（ふるさと意識の高揚） 若い世代のふれあい	小学生記者、中学生記者、高校生記者 高齢者記者、ママ記者 ＊世間話などを記事にする（区民館等で地元の名産品などをたべながら） 編集委員会議をイベント化する。	記事の内容を工夫する（プレゼントコーナー、地域の人をイラストなどで紹介する等）